

6-2 基本方針2 高齢者の健康づくりと介護予防の充実
(1)健康づくり、健康増進

掲載ページ	73	事務事業名	各種体育大会等の開催			担当課	スポーツ健康課
事業の概要	市総合体育大会、各種事業等及びスポーツ教室を開催し、スポーツに親しめる機会を提供する。						
事業の目的	高齢者を含めた市民の健康の保持増進及び体力の向上を図る。						
評価の指標	市総体、各種大会開催回数						
27年度	目標値	47回	評点	S	評価	目標どおり、事業が実施できた。	
	実績	47回			今後の取組	引き続き、高齢者の方に参加していただける事業を継続していく。	

掲載ページ	73	事務事業名	総合型地域スポーツクラブの育成			担当課	スポーツ健康課
事業の概要	総合型地域スポーツクラブの継続活動に向けて、既存の活動団体を支援する。						
事業の目的	高齢者を含めた市民の定期的な運動の機会をつくり、健康の保持増進及び体力の向上を図る。						
評価の指標	広報誌への掲載回数						
27年度	目標値	11回	評点	A	評価	目標値は達成できなかったが、1回は「特集」としてすべての認定団体を掲載し、その活動内容や問合せ先などの詳細な情報を掲載し、活動の啓発をすることができた。	
	実績	4回			今後の取組	平成28年度に新たに1団体が認定されたため、市内では5団体となりました。新規団体が、総合型の本来の目的である「地域に根差した活動」ができるよう、活動の広報や活動場所の確保等の支援をしていく。	

掲載ページ	74	事務事業名	体カテストの開催			担当課	スポーツ健康課
事業の概要	20歳以上を対象にした体カテストを実施し、自分にあったスポーツ・健康活動への計画的な取り組みを行っていくための機会を提供する。						
事業の目的	スポーツや健康に対する関心を深め、生涯スポーツの推進と健康生活の向上を図る。						
評価の指標	体カテストの開催回数						
27年度	目標値	9回	評点	S	評価	目標どおり、体カテストを開催できた。	
	実績	9回			今後の取組	引き続き、高齢者の方が参加しやすいよう、総合体育館だけでなく、学校体育施設を活用し、地域に出向いて開催していく。	

掲載ページ	74	事務事業名	健康週間普及啓発事業		担当課	スポーツ健康課
事業の概要	各種健康週間においてふれあいプラザ等での展示などによる様々な情報提供、講演会などを実施する。					
事業の目的	生活習慣病予防及び健康の維持増進を図るための市民への情報提供を行う。					
評価の指標	展示及び講演会の実施数					
27年度	目標値	7回	評点	S	評価	禁煙週間、歯と口の健康週間、食育月間、健康増進普及月間、食生活改善普及月間、全国糖尿病週間、女性の健康週間の7回それぞれにおいて、講演会およびふれあいプラザ、総合体育館での普及啓発の展示を実施し、健康の維持増進に関して市民への情報提供ができた。
	実績	7回			今後の取組	平成26年度より市立病院との協力で実施している全国糖尿病週間でのイベントについて、平成28年度からは保健年金課、茅ヶ崎歯科医会とも協力し、歯周病が生活習慣病(糖尿病)を悪化させるなど、新たな情報の啓発等を加えて実施していく。

掲載ページ	74	事務事業名	歯科保健事業		担当課	スポーツ健康課
事業の概要	「歯っぴいデー」を開催します。					
事業の目的	歯と口の健康週間において、歯科保健に関する知識の普及を図ります。					
評価の指標	来場者数					
27年度	目標値	150人	評点	S	評価	平成27年6月7日(日)分庁舎コミュニティホールにおいて「歯っぴいデー」を開催し、だ液や口腔内の細菌チェック、ブラッシング指導のほか、湘南口体操の普及活動を実施し、歯科保健に関する知識を普及することが出来ました。
	実績	155人			今後の取組	平成28年度以降は、会場を新しい本庁舎1階のふれあいプラザへ移し、より多くの市民が立ち寄りやすいイベントとなり来場者が増加するよう、デジタルサイネージ等の活用で、周知の充実を図ります。

掲載ページ	74	事務事業名	健康診査		担当課	保健福祉課
事業の概要	75歳以上の市民及び40歳以上の生活保護受給者を対象として、生活習慣病等の早期発見のために健康診査を実施する。					
事業の目的	高齢者等の健康増進及び病気の早期発見					
評価の指標	受診者数					
27年度	目標値	13,500人	評点	S	評価	目標値に対して1.01倍の実績を達成したため。
	実績	13,629人			今後の取組	個別通知を継続して、受診数の増加を図る。

掲載ページ	74	事務事業名	高齢者インフルエンザ予防接種事業	担当課	保健福祉課	
事業の概要	65歳以上の市民及び60歳以上65歳未満で心臓・腎臓・呼吸器・免疫の機能障害により身体障害者手帳1級相当の手帳を所有する市民を対象に、インフルエンザワクチンの予防接種費用の助成する。					
事業の目的	高齢者のインフルエンザの感染予防及び重症化防止					
評価の指標	予防接種者数					
27年度	目標値	23,000人	評点	S	評価	目標値に対して1.04倍の実績を達成したため。
	実績	23,855人			今後の取組	広報紙等により市民周知を図ります。

掲載ページ	74	事務事業名	健康増進と虚弱化予防の拠点づくり	担当課	企画経営課
事業の概要	高齢者の虚弱化の予防に向けた気づき・学びとして東京大学が開発した「フレイル・チェック」を行う。合わせて、測定支援を行う市民サポーターの養成をする。				
事業の目的	自身の虚弱化の気づきの場を提供し、健康寿命の延伸や社会保障費の抑制を図る。				
27年度	評価	市内各所で実施(1回は荒天のため中止)し、延べ192名が参加した。また、市民サポーターを27名養成し、フレイル予防を市民主体の健康増進運動へ展開するための土台づくりを行うことができた。			
	今後の取組	フレイルチェックを市民主体の取り組みとするために、事業の進行を行うサポーターの養成が課題となっており、東京大学と連携しながら進めていく。また、市で主催している様々な健康講座の情報を集約し、参加者へ情報提供し、各講座へ誘導することで、フレイルチェックをより効果的なものとなるようにする。さらに、健康無関心層への働きかけ及び他の運営主体での取り組みでの実施を視野に入れ、地域サロンでの試行的な実施を行う。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			

掲載ページ	74	事務事業名	高齢者肺炎球菌ワクチン接種事業	担当課	保健福祉課
事業の概要	65歳以上の市民及び60歳以上65歳未満で心臓・腎臓・呼吸器・免疫の機能障害により身体障害者手帳1級相当の手帳を所有する市民を対象に、肺炎球菌ワクチンの予防接種費用を助成する。				
事業の目的	高齢者の死因の上位を占める肺炎の一因である肺炎球菌の感染予防				
27年度	評価	平成26年度より予防接種法の改正により定期接種に位置づけられたことにより、事業を実施しています。国の定期接種対象者は、65歳から5歳刻みの年齢となっていますが、本市では、接種の機会を逃してしまうことを避けるために、65歳以上の全ての年齢に対象を拡大して実施しています。生涯1回限りの助成であるため、26年度の受診者数は、9,300人、27年度は2,474人となっている。			
	今後の取組	年度初めに、タブロイド版の予防接種実施医療機関一覧を広報紙に挟み込み、市民周知を図っていく。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			